

2016年度 委員会事業報告書

担当副理事長 澤村知伸
会員資質向上委員会 委員長 黒田恭弘

1. 委員会開催日 (12回)

1/13	2/11	3/15	4/12	5/19	6/14	7/20
8/18	9/20	10/20	11/17	12/21		

2. 事業報告

- | | |
|------------------|-------------------|
| ①賀詞交歓会(1月例会)の担当 | 1月18日 |
| ②例会の担当 | 4月21日・7月21日 |
| ③西尾張6JCじゃがいもの担当 | 6月1日 |
| ④東海フォーラムの担当【岐阜】 | 7月2日 |
| ⑤JCI世界会議の担当【カナダ】 | 10月30日～11月4日 |
| ⑥JCニュースの編集と発行 | 1月18日・9月25日・12月4日 |
| ⑦新入会員の拡大 | 通年 |
| ⑧新入会員の育成 | 通年 |

3. 委員会メンバー

黒田恭弘 宇佐美智也 西川原慎治 安井貴仁 辻 昌志 鳥居厚志

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会では、1年を通して地域から必要とされるJAYCEEになっていただくことを目的に活動をしてまいりました。

まず、2016年度の運動方針を発信する場を設けました。青年会議所に属するのに必要である品格ある青年として、当たり前前を当たり前にして立ち振る舞いをすることが日頃からご支援を賜っている方々に対して、感謝の気持ちと敬う気持ちを伝えるのに重要であると考え、設営をしました。メンバーが少ない中、多くの方々をお招きするため事前から一人ひとりの抱負をしっかりと伝えをお願いをすること、そして品格ある青年として立ち振る舞いを実践することでメンバーの資質を高めることが出来ると思います。

そして、青年会議所活動に自覚と責任をもって取り組んでいくことが自身の成長につながると考え、全てのメンバーが青年会議所活動を通じて意識を変革するように設えをしました。1部の「意義のある青年会議所活動とは」と題した歴代理事長の伊藤圭樹先輩によるご講演を通じて、メンバーに対してLOM内での役職の重要性を理解していただき、今後の抱負の向き合い方への意識変化をもたらせたと思います。2部のディベートは、非常に効果が高い分、難度の高い設えでありました。結果的に精度の高いものに出来ませんでした。そして成果を気にし過ぎたことで委員会の想いが十分に伝わるに至らなかったことを反省します。シナリオを作らず本音で討論しあう場を設けた方が、失敗するリスクはありますが聞き手であるメンバーには深く伝わったと考えます。委員会としてメンバーにテーマを伝えるためにどんな手法を用いるのかをしっかりと考え、伝えるためであれば今までやったことのない手法に取り組むことも意味のあることであると申し送りいたします。

また、人を巻き込み共感を得られる人物になるには、サーバントリーダーシップを身につけることが必要

であると考え、実践的な設えをしてリーダーシップを発揮する力を身につけることが出来る設えをすべきでしたが、理解いただくには不十分な設えになってしまったことを反省します。事業計画に入る以前にしっかりと方向性を決め計画をすべきところ、方向性が定まるのが遅くなったことで事業計画にも影響が出てしまったことが要因であると考えます。方向性を早い段階で定める為にも、テーマに対して揺るぎないもの出来るくらいの勉強をして、誰に対しても説得出来る様にする必要があると申し送りをいたします。例会後に行ったサーバントリーダーシップコミュニケーションを通じて、サーバントリーダーシップについての理解を深め、リーダーシップを発揮する力の向上を図ることが出来ました。

現代のような成熟した社会では、サーバントリーダーシップは有効な哲学であると考えます。10の特性を会得出来ている人は、リーダーである前に素晴らしい人格者であり、その様な人格者であれば、ビジョンを描き、それに向けて行動した時に、フォロワーが自然と現れると考えます。10の特性を意識し身につけることで、人に影響を与えられる人財になると考え申し送りさせていただきます。

最後に、地域から必要とされるJAYCEEとは、青年会議所という組織の中で当事者意識をもって活動が出来人財であると考えます。

5. 委員長所見

この1年間、委員長として積極的に青年会議所活動に参加をさせていただきました。委員会メンバーに対しては傾聴と共感を実践して、巻き込んでいこうと活動をしてまいりました。しかし我々の委員会の設営する例会や対外事業に対しては丸丸となつて向き合えていただくことが出来ましたが、他の委員会が担当する例会や対外事業に対しては、協力することの重要性を納得していただくことが不足してしまい、他の委員会の皆さんに多くのご迷惑をかけてしまったことを反省しております。LOMメンバーを巻き込む以前に、委員会メンバーを巻き込むことが不十分であったことは本当に気概の無さを悔いております。しっかりとしたビジョン、そして委員会メンバーが成長していただくことを考えた上で、委員会をしっかりと行い、議論を交わす場を設えることで、参加した委員会メンバーが成長するコミュニティになり、その結果として例会に於いてメンバーサービスをより充実したものに出来たと考えます。

JCニュースに関しましては、忙しい中、多くのメンバーに執筆をしていただきましたことを感謝申し上げます。

そして、1年を通して、3度の例会と東海フォーラムの設営を担当することで、設営に対する学びも非常に多くありました。

委員長として活動してきた中で、何よりも大切なのは効率化を図ることよりも泥臭く活動をしていくことが重要であり、その活動を経た先に周囲からの共感を得ることが出来、巻き込むことが出来るということに気付くことが出来ました。その過程を経てサーバントリーダーシップを発揮していくことで真のリーダーになれると思います。もっと早い段階で気付くべきでしたが、気付くことが出来ただけでも自分にとって委員長を経験させていただいた貴重な財産であります。先輩方からJCに入ったら委員長は絶対に経験をするべきだとお聞きしており、人によって学びになることは違うと思いますが、その意味が身をもって実感できたことはありがたく感じております。そして、我われが所属している青年会議所は、真摯に向き合い活動をしていくことで、人としての資質が向上する機会を与えてくれる場所であることを実感出来た1年でした。

最後になりますが、様々な設営があった中で、多くのメンバーの皆様にご協力いただけたこと、そして何よりも委員長である私をしっかりとサポートしてくれた委員会メンバーには本当に感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

収 支 決 算

収入の部	支出の部
------	------

予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	148,392	事業費	143,400	⑥	148,392	⑥	143,400
合計	148,392	合計	143,400	合計	148,392	合計	143,400